Konica

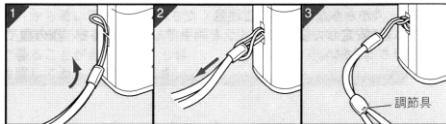
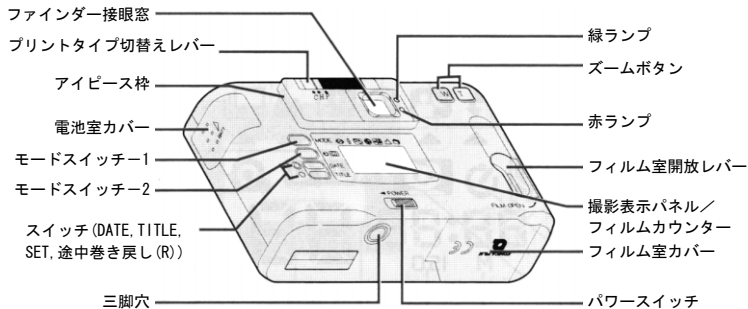
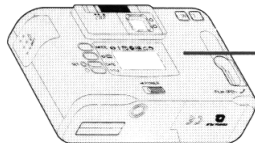
Revio Z2

使用説明書

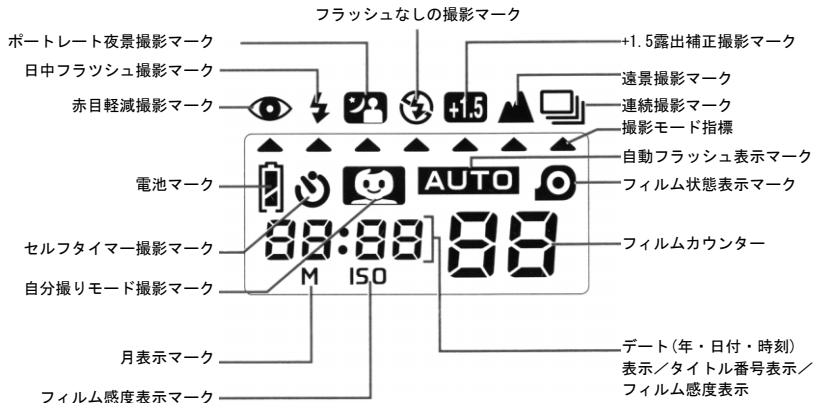
各部の名称

ストラップの取付け方

ストラップ取付部にストラップ先端の細いヒモの部分を通し、通したヒモの輪にもう一方のストラップの端を通して、引っ張ってください。

＊ 調節具の突起部は、オートデートの修正やフィルムの途中巻き戻しをするなど小さなスイッチを操作するときにご使用ください。

タイトルラベルの貼り位置

付属のタイトルラベルは、この位置に貼り付けが可能となっています。

撮影表示パネル

＊図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

ファインダーと表示ランプ

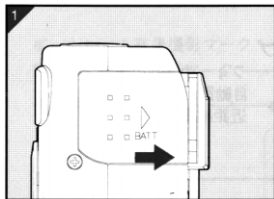
＊Hタイプの撮影フレームで説明いたします。

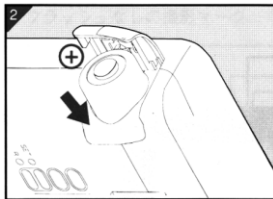
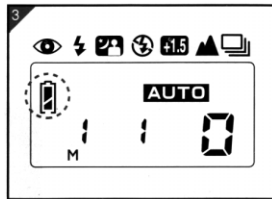
緑ランプ
(点灯)フォーカス(AF)ロック、
自動露出(AE)ロック
(点滅)近距離警告

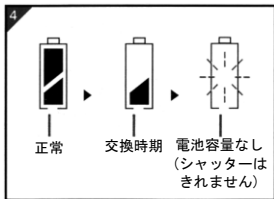
赤ランプ
(点灯)フラッシュ発光予告表示、
フラッシュ充電中表示
(点滅)手ぶれ警告
(フラッシュなし撮影モード時)

オートフォーカスフレーム
このフレーム内の被写体にピントが
合います。

1. 電池の入れ方

＊電池を入れた時、交換した時は必ずオートデートの修正およびタイトル確認をしてください。

電池室カバーを矢印方向へスライドさせると、カバーが開きます。

＊ カメラに電池が入っていないときにパワースイッチをONにすると、レンズが開きますが故障ではありません。電池を入れてパワーOFFにすると自動的に閉まります。

電池の＋、－を電池室内の表示に合せて正しい向きで入れ、電池室カバーを閉めてください。

電源をONにし、撮影表示パネルを確認してください。
電池マークが黒く点灯していれば、電池容量はOKです。

⚠警告	爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。
⚠警告	電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って飲み込むと死亡する危険があります。

使用電池は、リチウム電池(CR2:3V)1本です。

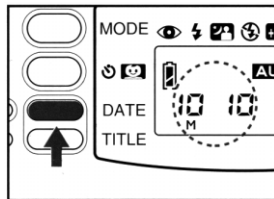
* 撮影途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影してフィルムを巻き戻した後、電池交換してください。
* 長期間の旅行や、たくさん写真を撮影するときには、予備の電池をご用意することをおすすめします。
* 連続してフラッシュ撮影すると電池容量が少ない表示になり、自動的にパワーOFFになることがあります。この場合、しばらく待ってから電源ONにしてください。電源ONにしたときに、電池容量が十分な表示になれば、そのまま撮影が続けられます。
* 寒冷地では電池の性能が低下しますので、カメラを保温しながらご使用ください。まれに、電池の容量が十分でも、容量が少ない表示になることがあります。

電池交換するときのご注意

1) 電池交換するときは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。
2) 電池マークが全部白くなると、シャッターがロックされます。
   フィルムが入っているときは電池を手ばやく(20秒以内)入れ替えてください。
3) 電池を取り出して20秒以上たつと、液晶表示がすべて消灯します。液晶が消灯しているときに電池を入れると、電池マークのみが点灯し、パワースイッチをONにすると、自動的に電源ON・OFFの動作が行われ、その後電源ONの状態になります。このときカメラ内に撮影途中のフィルムが入っていると自動的に巻き戻しが行われ、カートリッジの使用状態マークは撮影済(✖)表示となり、再使用はできません。
4) 新品電池に交換後に電源ONしても、電池マークが全部白くなる場合は故障です。当社サービスステーションにお持ちください。

2. オートデート

＊日付・時刻を合わせてください。

2050年までの日付・時刻を記録し、プリント時に印字することができます。

電源をONにしてから、DATEスイッチを押して、月・日、時・分、表示なし、西暦などを選びます。

＊ DATEスイッチを押すごとにデート表示が切替ります。

＊ デート表示内容と実際のプリント時に印字される内容の組み合わせは下表の通りです。

デート表示内容 ＊( )内は表示例	実際の印字内容 ＊( )内は印字例
月・日表示（1 0 1 0 M）	年・月・日 （9 9 1 0 1 0）
時・分表示（1 1 ：1 5）	年・月・日・時・分 （9 9 1 0 1 0 1 1 ：1 5）
表示なし （ -- -- ）	印字なし
西暦表示 （ 1 9 9 9 ）	年・月・日 （9 9 1 0 1 0）

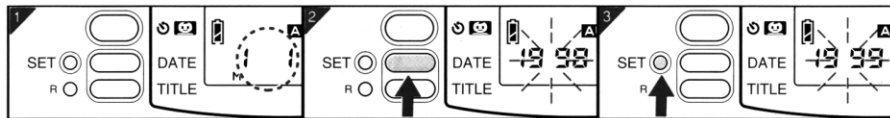
＊ 各デート記録は、フィルムには磁気により撮影範囲外に記録されます。

＊ 印字される年・月・日の順序は、選択言語に対応して自動的に内部設定されます。

＊ タイトル選択時は自動的に「年月日」+「タイトル」の組合せで印字されます。

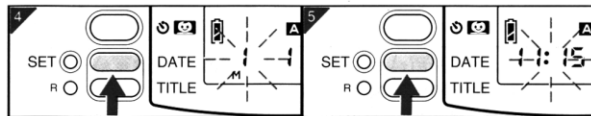
＊ 印字される文字の大きさ、形状、印字位置、両面への印字の可否などは新システムの現像プリントサービス認定店によって異なる場合がありますので、店頭にてご確認ください。

＊ 背景によってはおもて面のデート文字が見にくくなる場合があります。

日付・時刻の修正方法(電池を初めて入れた時、交換した時は必ず修正してください。)

1 電源をONにしてください。
デート表示が点灯します。

2 DATEスイッチを2秒以上押し続けると西暦(4桁)が点滅し、修正モードになります。

3 SETスイッチをストラップ調節具の突起部で押して、点滅している数字を修正します。

* SETスイッチは、合せたい数字になるまで押してください。

4 修正が終わったら、DATEスイッチを押してください。
修正する個所が切替ります。

* 3 4の操作を繰り返し、月・日・時・分を修正してください。

5 分を修正した後にDATEスイッチを押すと、:が点滅しますので、もう1度DATEスイッチを押してください。
点滅が点灯となり修正モードが終わります。

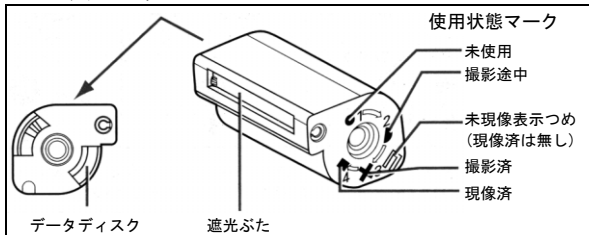
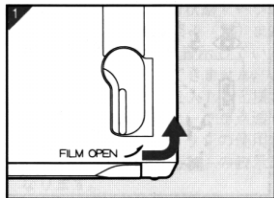
* 秒まで合せたい場合は、:の点滅時に時報のゼロ秒時に合せてDATEスイッチを押してください。
* 修正モードが終わると、月日表示に戻ります。

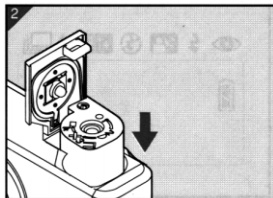
3. カートリッジの入れ方

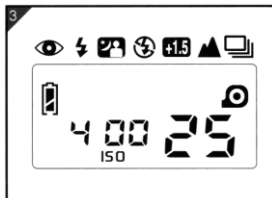
＊IX240カートリッジフィルムをご使用ください。

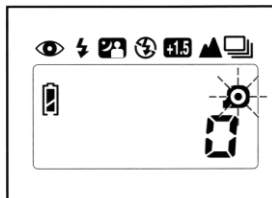
カートリッジフィルムについて

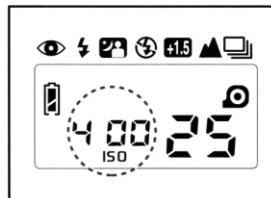
＊ 新システムのフィルム(IX240カートリッジフィルム)は、従来のフィルム(J135フィルム)と互換性はありません。

＊ このカメラでは、使用状態マークが◗(撮影途中)、✖(撮影済)または■(現像済)を表示しているカートリッジは使用できません。使用状態マークが●(未使用)のカートリッジをご使用ください。

- ⦸ カートリッジは分解しないでください。
- ⦸ 遮光ぶたを開けないでください。
- ⦸ 使用状態マークおよびデータディスクを動かさないでください。
- ⦸ 使用状態マークの未現像表示つめを折らないでください。
- ⦸ カートリッジを磁石やスピーカーなどの電気製品の近くに置かないでください。

フィルム室開放レバーを矢印方向へ回してください。
フィルム室カバーが開きます。

＊ 使用状態マークが●(未使用)以外のカートリッジは使用しないでください。

カートリッジを、使用状態マーク側を上にして入れ、フィルム室カバーをカチッというまで確実に閉じてください。
自動的にフィルムを送り始めます。

⊘ カートリッジは逆向きなど無理な力で入れないでください。
＊ カートリッジを入れると、使用フィルムの感度(ISO25～3200)が自動的にセットされます。
＊ フィルム室カバーを閉めると最初にフィルムの情報が読み込まれます。この間は電池マークだけが表示されます。

フィルムを送り始めると、撮影表示パネルにはフィルム感度、規定撮影枚数が表示され、マークが点灯した後フィルムは１枚目の撮影位置で自動停止します。

＊ フィルムカウンターは残りの撮影できる枚数(規定撮影枚数)を表示します。

もし、フィルムが正しく送られなかったときは、マークが点滅します。

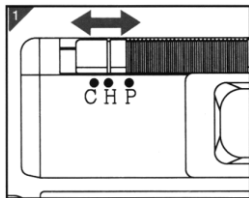
＊ この場合このカメラでは、未使用でもカートリッジの使用状態マーク(●)は撮影済み(✖)表示となり、再使用はできなくなります。

フィルムが入っていて電源OFFのときは、撮影表示パネルのデート表示部分にはフィルム感度が表示されます。

＊ このカメラでは、使用状態マークが撮影途中(◗)、撮影済み(✖)または現像済み(■)を表示しているカートリッジは使用できません。これらのカートリッジを入れると撮影表示パネルには◘マークが点滅します。また、カートリッジの使用状態マークは撮影済み(✖)の表示になります。

⊘ 撮影途中のフィルムがカメラに入っているときにフィルム室カバーを無理に開けないでください。

4. プリントタイプの切替え

＊１本のフィルムの途中で、３種類のプリントタイプの切替えができます。

＊このカメラでは、C/H/Pの3種類のプリントタイプを選択することができます。

プリントタイプ切替えレバーを動かして、ご希望に応じてプリントタイプを切替えてください。

＊ レバーの指標をC/H/Pのいずれかの文字(●印)に合せてください。

ファインダー内の撮影範囲フレームが切替わります。

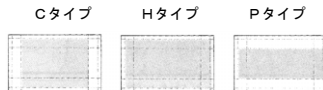
＊ 図の青い部分がそれぞれの写る範囲です。

＊ Ｃタイプは従来のプリントサイズ、Ｈタイプはワイドなハイビジョンサイズ、Ｐタイプはパノラマサイズです。

＊ Ｐタイプの撮影画面では、被写体から２ｍ以上離れて撮影することをおすすめします。

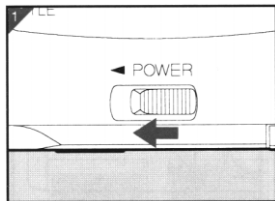
プリントタイプの切替えについて

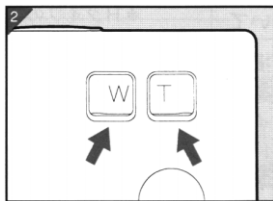
選択したプリントタイプは、撮影時にフィルム上に磁気記録されます。
C/H/Pのどのプリントサイズを選択してもフィルム上では常にＨタイプの画面サイズで写し込まれますが、プリントの際には、磁気記録レたデータに基づき､選択されたプリントタイプでプリントされます。
(ネガカラーフィルム使用の場合)

＊ Ｈタイプのプリントでは撮影画像がほぼそのままプリントされ、Ｃタイプでは左右をカットして、またＰタイプでは上下をカットしてプリントされます。

＊ ３種類のプリントの縦横比は、下表のようになります。
(標準的縦横比)

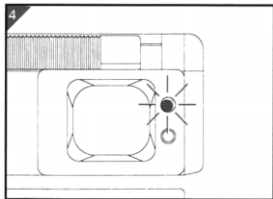
プリントタイプ	縦：横
Ｃタイプ	２：３
Ｈタイプ	９：１６
Ｐタイプ	１：３

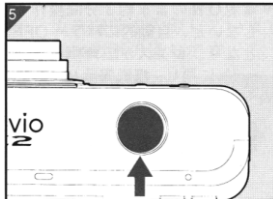
5. 撮影方法(一般撮影)

＊すべての撮影に共通する基本的な撮影手順をＨタイプの撮影画面で説明します。

パワースイッチを矢印方向にスライドさせると電源がONになります。
電源ONでレンズカバーが開き、レンズが撮影位置まで繰り出します。

＊ 前面のレンズが汚れていたら、柔らかい乾いた布で軽く拭き取ってください。

ファインダーをのぞき、ズームボタンを押して構図を決めます。
Ｔ側を押すと望遠側(48mmまで)、Ｗ側を押すと広角側(24mmまで)に画面が移動します。希望の構図になった所で指を離して止めてください。

ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合せます。

＊ このカメラは、マルチオートフォーカス機能を内蔵しています。

シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯し、自動的にピントが合います。

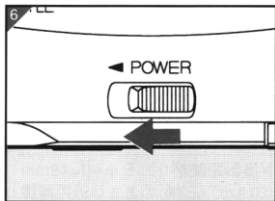
＊ シャッターボタンは半押しのままにしてください。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

＊ 撮影が終わるとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が１つ減算されます。

日中の撮影距離

焦点距離	撮影距離
２４ｍｍ	０．５ｍ～∞
４８ｍｍ	０．４ｍ～∞

＊ 撮影距離が0.5m(f=48mm0.4m)～1mのときは近距離撮影になります。

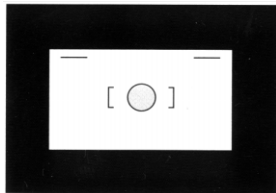
＊ シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは、被写体が近すぎてピントが合わない警告です。この場合、シャッターはきれません。シャッターボタンから指を離し、被写体から少し離れてシャッターボタンを押し直してください。

撮影が終わったら、パワースイッチを矢印方向へスライドさせ離してください。
レンズが収納されて、レンズカバーが閉まり、電源がOFFとなります。

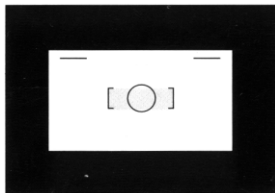
＊ フィルムが入っていて電源OFFのときは、撮影表示パネルのデート表示部分にはフィルム感度が表示されます。

＊ 電源ONのまま約３分間操作をしないと、自動的にパワーOFFとなり、レンズが広角側(24mm)に戻り、撮影表示パネルのデート表示部分には、フィルム感度が表示されます。
撮影可能な状態に復帰させるには、シャッターボタンを半押しするかズームボタンを押してください。

＊ 撮影が終了したり、長時間撮影しないときは、パワースイッチをスライドさせ電源OFFにし、レンズカバーを閉じてください。

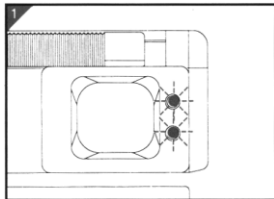
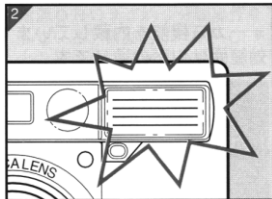
マルチオートフォーカスについて

＊ このカメラは、マルチオートフォーカス機能を内蔵しています。
このマルチオートフォーカス有効範囲は以下の通りです。

広角撮影(24mm側)のときは、オートフォーカスフレームの円(○)内の被写体にピントが合います。

＊ 図の青い部分が、ピントの合う範囲の目安です。

望遠撮影(48mm側)のときは、オートフォーカスフレームの〔　〕枠内の被写体にピントが合います。

＊ 図の青い部分が、ピントの合う範囲の目安です。

6. 自動フラッシュ撮影

＊暗いときフラッシュが自動的に発光します。

シャッターボタンを半押しして、緑ランプと共に赤ランプが点灯したら、フラッシュが自動的に発光する表示です。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、フラッシュ撮影してください。

＊ フラッシュ撮影の赤ランプ点灯は、充電中ですからこの間シャッターはきれません。
＊ 人物のフラッシュ撮影には、赤目軽減撮影をおすすめします。

フラッシュ撮影の距離（ネガカラーフィルム使用の場合）

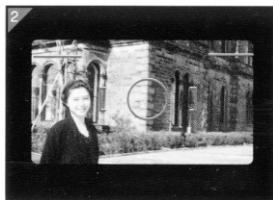
焦点距離	フィルム感度	撮影距離
24mm	ISO100	0.5m～4.2m
	ISO400	0.5m～8.4m
48mm	ISO100	0.4m～2.2m
	ISO400	0.4m～4.4m

7. フォーカスロック撮影

＊被写体が画面中央から外れるときは、フォーカスロック撮影をしてください。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しにしてください。緑ランプが点灯し、ピント位置が固定されます。

＊ シャッターボタンは半押しのままにしてください。

＊ フォーカスロックと同時に露出も固定されます。

シャッターボタンを半押ししたまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みシャッターをきってください。

＊ 半押しした指をシャッターボタンから離すとフォーカスロックは解除され、やり直しができます。

オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

①光を反射しにくい黒いもの
②小さいもの、細いもの
③発光体
④光沢のあるもの
⑤雨、霧、煙等の実体のないもの

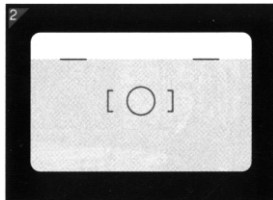
これらは測距しにくいので、同じ距離の測距しやすいものに向けてフォーカスロックをしてから撮影してください。
また、ガラス越しの撮影の場合は、遠景撮影モードで撮影してください。

＊ 構図を決め直すときに、撮影距離が変わらないようにご注意ください。距離が変わったときは、やり直してください。

8. 近距離撮影

＊0.5m(0.4m)まで近づいて近距離撮影ができます。

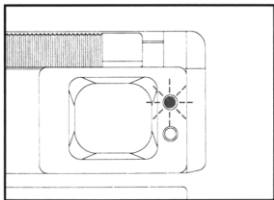
0.5m(0.4m)～1mに近づいてピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合わせます。

＊ 望遠48mmにセットすると、0.4mまで近づいて撮影ができます。このときは、構図に余裕をもたせて撮影してください。

ファインダー内の近距離補正マークより下側で構図を決め、シャッターボタンを押してください。

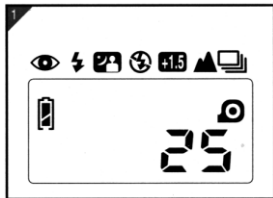
＊ 図の青い部分が写る範囲です。

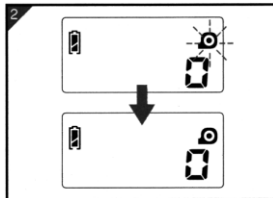
＊ 構図上、被写体がオートフォーカスフレームから外れる場合はフォーカスロック撮影をしてください。

＊ 三脚を使い、セルフタイマー撮影をすると、カメラぶれを防げます。

＊ Pタイプの撮影画面で近距離撮影するときは、撮影フレーム範囲いっぱいに被写体を入れるとプリント時に被写体の一部がカットされることがありますので構図の上側に余裕をもたせて撮影してください。

シャッターボタンを半押しして、
緑ランプが点滅したときは...

＊ 撮影距離が近すぎて、ピントが合わない警告です。この場合、シャッターはきれません。
シャッターボタンから指を離し被写体から少し離れてシャッターボタンを押し直してください。

9. カートリッジの取り出し方

フィルムの規定枚数の撮影が終わると、自動的に巻き戻しが始まります。

＊ フィルムカウンターは、巻き戻しに連動して、撮影済みの枚数から減算表示していきます。

巻き戻しが完了すると自動的に停止し、マークが約5秒間点滅します。フィルムカウンターの“0”点灯を必ず確認してから、フィルム室カバーを開けてカートリッジを取り出してください。

＊ “0”が点灯する前にフィルム室カバーを開けると、カメラが故障したり、フィルムが感光する恐れがあります。

＊ 低温時にフィルムの巻き戻しが途中で止まり、フィルムカウンター表示が点滅したときは常温で電池交換後、途中巻き戻しをしてください。

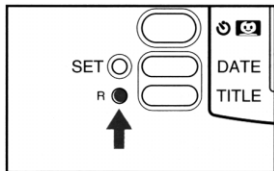
＊ 写し終わったカートリッジは、お早めに下記マークのある新システムの現像プリントサービス認定店にお出しください。

＊ 現像プリントサービス認定店では新システム独自の各種プリントサービスが可能です。詳しくは店頭でお尋ねください。

ADVANCED PHOTO SYSTEM ™

途中巻き戻しの方法

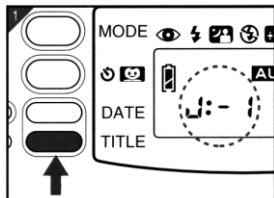
途中巻き戻し(R)スイッチをストラップ調節具の突起部で押すと、撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

* フィルムカウンターは、巻き戻しに連動して損影した枚数から減算表示していきます。
* 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

* このカメラでは、途中巻き戻しして取り出したカートリッジの使用状態マークは✖(撮影済み)となり、再使用はできません。

応用撮影

タイトルの選択や撮影モードめ切替えによる赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、+1.5露出補正撮影、遠景撮影、連続撮影、セルフタイマー撮影、自分撮りモード撮影などの応用撮影およびリモコン撮影について説明いたします。

10. タイトルの選択

＊撮影と同時に、選択したタイトルをフィルムに磁気記録し、印字することができます。

電源ONにしてから、TITLEスイッチを押してください。
TITLEスイッチを押すごとにタイトル番号が順次表示されますので、希望のタイトル番号を選択してください。

日本語タイトルの内容

番号	タイトル（印字内容）
J－1	アイラブユー
J－2	オタンジョウビオメデトウ
J－3	オメデトウ
J－4	メリークリスマス
J－5	アケマシテオメデトウ
J－6	コンナニオオキクナリマシタ
J－7	カワイイデショ！
J－8	ヨロシク！
J－9	コンニチワ

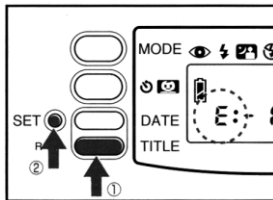
＊ 一度選択したタイトル内容(番号)は、電源をOFFにしても保持されています。再度電源ONにしたときには、タイトル内容をご確認の上必要に応じて選択し直しでください。
タイトルの記録を止めたいときは、DATEスイッチを押してください。

＊ 印字される文字の大きさ、形状、印字位置、対応言語などは新システムの現像プリントサービス認定店によって異なる場合がありますので、店頭にてご確認ください。

他言語のタイトルを選択する

＊ 他言語のタイトルは、最初に希望の言語(言語記号)を選択してから、タイトル番号を選択してください。

＊ 日本語の他に、６言語からタイトルを選択することができます。
＊ タイトル内容は選択した言語により異なります。また、選択した言語とタイトルの全てが印字可能とは限りませんので、印字可能であるかは撮影前に新システムの現像プリントサービス認定店でご確認ください。

言語の選択方法

電源をONにしてTITLEスイッチを押した後に、SETスイッチをストラップ調節具の突起部で押してください。SETスイッチを押す毎に言語記号が順次表示されますので、希望の言語記号を選択してください。

言語記号表

記号	言語名
J	日本語（カタカナ）
E	米語（英語）
F	フランス語
dE	ドイツ語
S	スウェーデン語
ES	スペイン語
I	イタリア語

＊ 選択した言語は、電源のON・OFFに関わらず設定を変えるまで固定されます。

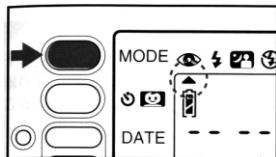
各言語のタイトル内容　＊カッコ内は日本語にした場合の意味

米語（英語）		フランス語		ドイツ語	
番号	タイトル	番号	タイトル	番号	タイトル
E-1	Christmas （クリスマス）	F-1	Mariage （結婚）	dE-1	Weihnachten （クリスマス）
E-2	Birthday （誕生日）	F-2	Meilleurs Voeux （時候の挨拶）	dE-2	Geburtstag （誕生日）
E-3	Congratulations （おめでとう）	F-3	Joyeux anniversaire （誕生日おめでとう）	dE-3	Urlaub （休暇）
E-4	Holiday （休日）	F-4	Félicitations （おめでとう）	dE-4	Hochzeit （結婚）
E-5	Party （パーティ）	F-5	Joyeux Noël （メリークリスマス）	dE-5	Party （パーティ）
E-6	Wedding （結婚）	F-6	Bonne Année （明けましておめでとう）	dE-6	Ich liebe Dich （アイラブユー）
E-7	Thank You （ありがとう）	F-7	Fête des Pères （父の日）	dE-7	Ostern （復活祭）
E-8	New Year's （新年）	F-8	Fête des Mères （母の日）	dE-8	Erinnerungen （思い出）
E-9	Season's Greetings （時候の挨拶）	F-9	Baptême （洗礼）	dE-9	Fasching （謝肉祭の最終日）

各言語のタイトル内容　＊カッコ内は日本語にした場合の意味

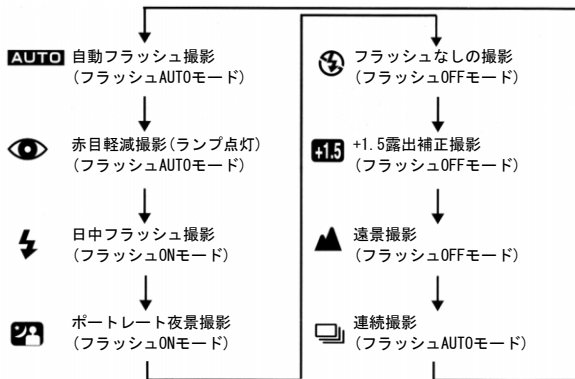
スウェーデン語		スペイン語		イタリア語	
番号	タイトル	番号	タイトル	番号	タイトル
S-1	Semester （休暇）	ES-1	Cumpleaños （誕生日）	I-1	Vacanze （休暇）
S-2	Fest （パーティ）	ES-2	Vacaciones （休暇）	I-2	Luna di miele （新婚旅行）
S-3	Jag älskar dig （アイラブユー）	ES-3	Fiesta （パーティ）	I-3	Ti amo （アイラブユー）
S-4	Tack så mycket! （ありがとう）	ES-4	Viaje （旅行）	I-4	Buon Compleanno （誕生日おめでとう）
S-5	God Jul och Gott Nytt År! （時候の挨拶）	ES-5	Feliz cumpleaños （誕生日おめでとう）	I-5	Buon Natale （メリークリスマス）
S-6	Grattis på födelsedagen （誕生日おめでとう）	ES-6	Felicidades （おめでとう）	I-6	Battesimo （洗礼）
S-7	Gratulerar! （おめでとう）	ES-7	Feliz Navidad （メリークリスマス）	I-7	Carnevale （謝肉祭の最終日）
S-8	Välkommen! （ようこそ）	ES-8	Semana Santa （聖週間）	I-8	Prima Comunione （聖餐）
S-9	Lycklig resa! （良い旅を）	ES-9	Veraneo （夏休み）	I-9	Tanti Auguri （ご多幸をお祈りします）

11. 撮影モードの切替え-1

＊被写体に応じて最適な露出方法を選択できます。

モードスイッチー1を押す毎に、撮影モード指標(▲)が各撮影モードのマークを順次示し、循環します。

＊ 一度設定したモードは固定されそのまま撮影が続けられます。

＊ 撮影が終わったら AUTO (通常モード)に戻しておいてください。また、電源OFFにするとモードは解除され、再度電源ONにすると AUTO に戻ります。

撮影モードの循環

12. 赤目軽減撮影

フラッシュAUTOモード

モードスイッチー１を押して撮影モード指標（▲）をマークに合せます。

シャッターボタンを押すと赤目軽減ランプが点灯した後にフラッシュが発光して撮影が終わります。

* 赤目軽減ランプが点灯してからフラッシュ発光までは約１秒かかります。この間、カメラを動かしたり、撮られる人が動かないようご注意ください。
* 明るい所では赤目軽減ランプ点灯とフラッシュ発光はしません。

赤目現象とは…

暗い場所で人物のフラッシュ撮影をしたときに、フラッシュ光が目の網膜に反射して目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といいます。
このモードでは、赤目軽減ランプで瞳孔を小さくした上でフラッシュが発光しますので、赤目現象の発生を軽減します。

効果的な被写体

暗い場所での人物のフラッシュ撮影。

* 赤目軽減効果の度合いには個人差がありますが、赤目現象を起こりにくくするには、

① 撮られる人に、視線をランプの方へまっすぐに向けてもらう ② 撮りたい人になるべく近づいて撮影する

などしてください。

13. 日中フラッシュ撮影　⚡フラッシュONモード

モードスイッチー1を押して撮影モード指標(▲)を⚡マークに合せます。

日中フラッシュ撮影

シャッターをきれば、明るい所でも常にフラッシュが発光します。

＊ シャッターボタン半押しで、緑ランプと赤ランプが同時に点灯します。

フラッシュなし

効果的な被写体

①逆光の人物
②室内の窓際の人物
③曇りの日の人物
④日陰の人物

14. ポートレート夜景撮影　フラッシュONモード

モードスイッチー１を押して撮影モード指標（▲）をマークに合せます。

ポートレート夜景撮影

シャッターをきれば、最長約２秒までのスローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

＊ シャッター速度が遅くなりますので、カメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
　また、撮影中は撮られる人も動かないようにしてください。

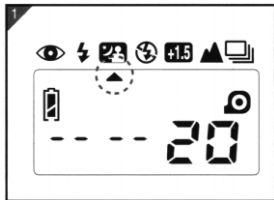
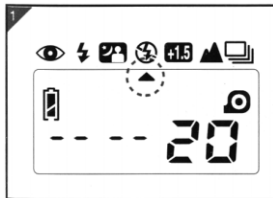
＊ 被写体が動いているときは、ぶれて写ります。

自動フラッシュ撮影

効果的な被写体

①夜景をバックにした人物
②夕暮れをバックにした人物
③バックにフラッシュ光が届かない室内の人物

15. フラッシュなしの撮影

フラッシュOFFモード

モードスイッチ－１を押して撮影モード指標（▲）を マークに合せます。

スローシャッターによる撮影

シャッターをきれば、最長約２秒までのスローシャッターによるフラッシュなしの撮影ができます。

＊ 暗い場所ではシャッター速度が遅くなりますので、カメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
＊ 赤ランプが点滅したら手ぶれ警告です。

効果的な被写体

①フラッシュ使用が禁止されている場所での撮影（美術館など）
②夜景の撮影
③日没時の風景
④室内照明を利用しての撮影

16. ＋1.5露出補正撮影

+1.5フラッシュOFFモード

+1.5露出補正撮影

露出補正なしの撮影

モードスイッチー１を押して撮影モード指標（▲）を+1.5マークに合せます。

シャッターをきれば、標準より約1.5絞り明るい自動露出撮影ができます。

＊ 暗い場所ではカメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
＊ フラッシュは発光しません。

効果的な被写体

①画面全体を明るく仕上げたいとき
②スキー場の人物
③逆光の人物
④白バックの人物
⑤明暗コントラストが強い建物の暗部を明るく写したいとき

17. 遠景撮影 ▲フラッシュOFFモード

モードスイッチ一１を押して撮影モード指標(▲)を▲マークに合せます。

ガラス越しの風景を遠景撮影

オートフォーカスフレーム内の被写体に関係なく、遠景にピントのあった撮影ができます。

* 夕・夜景など暗いときの撮影はシャッター速度が遅くなりますので、カメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。
* フラッシュは発光しません。

一般撮影

効果的な被写体
①遠い風景
②ガラス越しの風景

18. 連続撮影　フラッシュAUTOモード

連続撮影

モードスイッチー１を押して撮影モード指標（▲）をマークに合せます。

被写体に向けてシャッターボタンを押し続けると、約1、2秒間に１コマの連続撮影ができます。

＊ 指を離すと撮影は終わります。

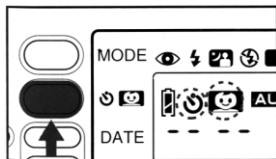
＊ １コマ目で露出とピントが固定されますので、極端に明るさや距離が変わる撮影では、途中で露出やピントが正しく合わなくなる場合があります。

＊ このモードでセルフタイマー撮影をすると、２コマの撮影が行われます。セルフタイマーのスタートから約10秒後に１コマ目、さらに約５秒後に２コマ目のシャッターがきれます。

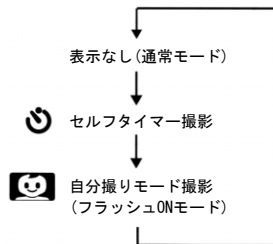
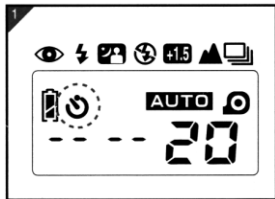
＊ フラッシュ発光時やシャッター速度が遅くなるときは、撮影間隔は長くなります。

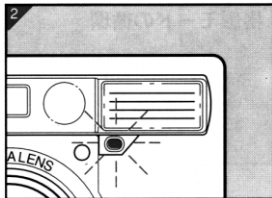
効果的な被写体

①動きのある被写体
（走っている人物など）

19. 撮影モードの切替え-2

モードスイッチー２を押す毎に、撮影表示パネルに２つのモードマークが順次表示され、循環します。

＊ 各撮影モードは、撮影毎にモードは解除され表示なし(通常モード)に戻ります。

撮影モードの循環

20. セルフタイマー撮影 ⏲

モードスイッチー2を押して撮影表示パネルに⏲マークを表示させます。

＊ モードスイッチー1の全ての撮影モードと組合せができます。

シャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、約10秒後にシャッターがきれます。

＊ セルフタイマーのスタートと同時にセルフタイマーランプが約7秒間点滅した後、約3秒間点灯してシャッターがきれます。

＊ 三脚をご使用ください。
＊ シャッターボタンはカメラの後側に立って押してください。前側からでは正しいピント、露出が得られません。
＊ シャッターボタンを押したときにフォーカスロックされます。
＊ セルフタイマーの作動をキャンセルしたいときは、パワースイッチをスライドさせ電源をOFFにしてください
＊ 撮影終了でモードは解除されます。続けてセルフタイマー撮影する場合はセットし直してください。

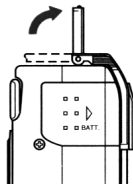
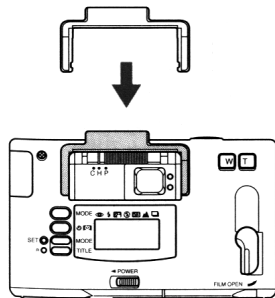
21. 自分撮りモード撮影

フラッシュONモード

●自分撮りミラーアダプターの取付け方

（付属のミラーアダプターをカメラ本体に取付けて撮影します。）

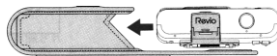
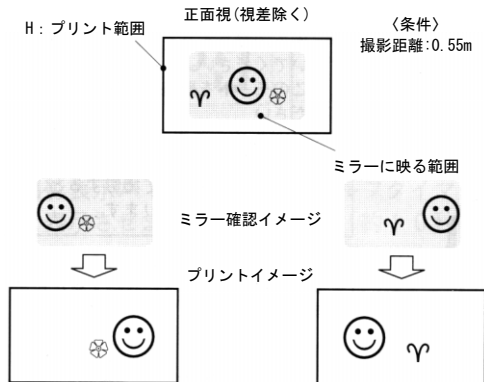
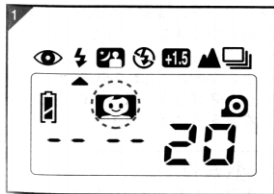
1. ミラーアダブターをカメラ背面のアイピース枠にはめ込み固定させます。

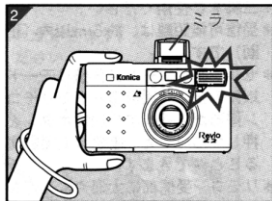
2. 撮影の際は、ミラーを起こしてください。

自分撮りモード使用上のご注意

⦸ フラッシュ発光で目を痛める危険があります。次のことを必ずお守りください。
- 乳幼児と一緒に撮影しないでください
- 撮影距離を50cm以下では使用しないでください
- このモードを連続して使用しないでください

⦸ 車の運転中に使用しないでください。事故の原因となります。

● フラッシュを見つめて撮影すると、目に残像が残る場合があります。

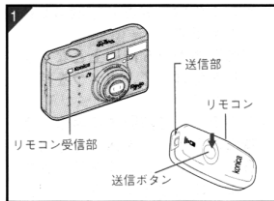
＊ミラーアダプターを取付けたままでも、ミラーを倒してケースに収納することができます。

●撮影範囲
(ミラーで確認できる範囲は下図を参考にしてください)

* ミラー確認は、ミラーの正面から見た場合に撮影画像と対応させたもので、ミラーの正面以外から見た場合は、実際の構図と異なります。
* 図のように、ミラーに映った構図と実際のプリントは左右が逆になります。
* ミラーで構図を決める場合は、おおよその目安としてお使いください。
  また、構図に余裕をもたせるには、Hタイプの撮影フレームで撮影することをお勧めします。
* C,Pタイプの撮影フレームで撮影した場合、ミラーで確認した範囲内でも、プリント時に被写体の一部がカットされることがあります。
* ピントの合う距離範囲は、約0.5m～1mです。

モードスイッチー2を押して撮影表示パネルにマークを表示させせます。

* このモードを選択すると、レンズ位置は自動的に広角側(24mm)にセットされます。ズーム(望遠)撮影はできません。

カメラは、レンズ側を自分の方へ向けて持ち、ミラーで撮影範囲をご確認の上、シャッターボタンを押してください。
フラッシュが発光して撮影が終わります。

*撮影終了でこのモードは解除されます。

* ピントの合う範囲は、約0.5m〜1mです。撮影距離が0.5m以上となるよう腕を伸ばして、カメラを持ってください。
* このモードで撮影する場合、手首にストラップを通し巻き付けるなどして、カメラを落とさないようにご注意ください。
* カメラぶれにご注意ください。
* フラッシュモードは、強制発光(マーク)に固定され、明るいところでもフラッシュが発光します。
  他の撮影モードと組合せての撮影はできません。

22. リモコン撮影

＊カメラから離れて撮影することができます。

リモコンの送信部をカメラの受信部に向けて、送信ボタンを押すと赤目軽減ランプが３秒間点滅した後、シャッターがきれます。

＊ 自動パワーOFFの状態では受信されません。

＊ 三脚をご使用ください。

＊ 受信可能距離は、約5m以内(正面)です。

＊ セルフタイマーと自分撮りモード以外の全ての撮影モードでリモコン撮影ができます。送信ボタンを押しつづけると、連続して撮影することができます。

＊ リモコン受信部に太陽や蛍光灯などの光が強く当たっているとき、或いはインバーター式蛍光灯が近くにあるときはリモコン撮影できないことがあります。そのようなときは、セルフタイマー撮影するかカメラを移動させてください。

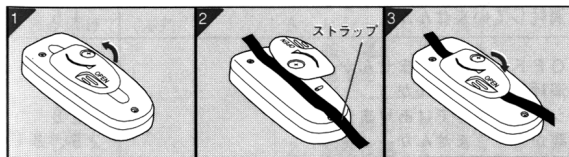
＊ リモコンには電池が入っています。撮影ができなくなったら、電池交換してください。リモコン裏面にある小さな十ネジ２本を外すとリモコンが２分割でき、電池(CR2025)交換が可能です。

⚠警告

爆発して大けがの危険があります。リモコンを火の中に入れたり、分解や加熱をしないでください。

リモコンの取付け方

＊ リモコンはストラップに取付けることができます。

＊ 取外す場合は、逆の手順で行ってください。

おもな仕様

＊下記性能については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については予告なく変更することがあります。

項目	仕様
形　式	：IX240 レンズシャッター式ＡＦ全自動カメラ（ズームレンズ及び磁気 IX 機能内蔵）
画面サイズ	：16.7 × 30.2mm
レンズ	：コニカズームレンズ 24mm Ｆ 4 ～ 48mm Ｆ 7.6（5 群 5 枚）レンズカバー付
パワースイッチ	：電源ＯＮでレンズカバーが開きレンズが繰り出す、電源ＯＦＦでレンズが収納されレンズカバーが閉じる、電池残量を撮影表示パネルに表示
シャッター	：絞り兼用プログラムシャッター、電磁レリーズ、約２秒～約 1/500 秒
焦点調節	：マルチ赤外光ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲：0.5m（f=48mm 0.4 m）～∞、撮影範囲外レリーズロック（緑ランプ点滅）、フォーカスロック可能、遠景撮影可能
露出調節	：光導電素子使用のプログラムＡＥ、中央重点測光
露出連動範囲	：ＩＳＯ 100 フィルム使用時　f=24mm ＥＶ 3 ～ＥＶ 17、f=48mm ＥＶ 5 ～ＥＶ 17
フィルム感度	：自動設定（ISO25 ～ ISO3200）
ファインダー	：実像式ズームファインダー、オートフォーカスフレーム、近距離補正マーク（Ｃ／Ｈタイプのみ）、ファインダーわきに緑ランプ（点灯；ＡＦ・ＡＥロック、点滅；近距離撮影連動外）、赤ランプ（点灯；フラッシュ発光表示、フラッシュ充電中表示、点滅；フラッシュなし撮影モード時の手ぶれ警告）
フラッシュ	：手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、発光間隔・約５秒、連動範囲・（ISO100、カラープリント用フィルム使用時）f=24mm 0.5m ～ 4.2m、f=48mm 0.4m ～ 2.2m
プリントタイプ	：プリントタイプ切替えレバーによりファインダー内の撮影範囲フレームをＣタイプ、Ｈタイプ、Ｐタイプの３種類に切替え、フィルム途中の切替え可能、プリントタイプは撮影時にフィルムに自動的に磁気記録

モード切替え	：①モード－1：自動フラッシュ撮影、赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、＋1.5 露出補正撮影、遠景撮影、連続撮影の各モードを選択可能（撮影表示パネルに表示） ②モード－2：セルフタイマー撮影、自分撮りモードを選択可能（撮影表示パネルに表示）
セルフタイマー	：電子式、作動時間・約 10 秒、セルフタイマーランプが約 7 秒点滅した後に約 3 秒間点灯、途中解除可能
リモコン	：赤外光利用の専用リモコンシステム、送信ボタンで始動、受信可能距離約 5 m 以内（正面）、電池 CR2025・3V　1 個、電池寿命約 10,000 回
フィルム給送	：電動式、フィルム室カバーを閉じるとスタートするワンタッチドロップインローディング、自動巻き上げ、フィルム規定撮影枚数の撮影終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能、カートリッジ途中交換機能なし
フィルムカウンター	：減算式、撮影可能枚数を撮影表示パネルに表示
オートデート	：液晶表示式デジタルウォッチ内蔵、2050 年までの年・月・日，時・分，写し込みなしを表示、秒単位まで修正可能、年（西暦 4 桁）表示可能、自動的に磁気記録、月差；± 90 秒以内
タイトル	：7 言語 9 タイトルより選択可能、撮影時に自動的に磁気記録
付属品	：赤外光利用の専用リモコン送信機、自分撮りモード用ミラーアダプター
使用温度範囲	：-10℃～＋ 50℃
電池寿命	：50% フラッシュ発光のとき約 12 本（25 枚撮りフィルム）
電　源	：リチウム電池（ＣＲ２・３Ｖ）１本
大きさ	：95 × 57 × 26.5mm
質量（重さ）	：147 g（電池別）